

国登録有形文化財



⑩旧国鉄武豊港駅転車台
■所在地/道仙田9-8

武豊港の狭い鉄道用地で貨物車の転向用に昭和2年(1927)に建設された。一对のレールを十字に敷く「直角二線式」の鉄製転車台で、直径7.5m。昭和40年の武豊港駅廃止とともに放置されていたが、平成14年に修復された。直角二線式転車台は全国でここにしか無く、平成21年(2009)1月、国の登録有形文化財に登録された。



⑫中定商店大五蔵、昭二蔵、昭三蔵
■所在地/小迎51

中定商店は明治12年(1879)に初代、中川定平が味噌、溜製造を始めた。大五蔵は大正5年(1916)竣工の仕込み蔵(土蔵造2階建、瓦葺、建築面積106㎡)、昭二蔵(土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積87㎡)と昭三蔵(土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積202㎡)は昭和2年(1927)と昭和3年にそれぞれ竣工した仕込み・圧搾場です。

その他の文化財



⑭長尾学校跡
■所在地/上ヶ6(坂田宅)

長尾学校は蓮花院の庫裡にあったが、明治12年(1879)7月に現在の場所に移転した。明治20年(1887)に「武豊学校」、同25年(1892)「長尾尋常小学校」と改称したが、現在の武豊小学校が建設される同32年(1899)までの20年間、子どもたちの学び舎であった。



⑮長尾山鳳翔閣跡石碑
■所在地/長尾山2(役場庁舎地内)

現在の役場あたりにあった海拔32mの長尾山は、町内はもとより遠く三河湾が一望でき緑松に囲まれた景勝地であった。鳳翔閣は、明治20年(1887)1月に建築された和洋折衷の建物であり、明治20年2月23日に明治天皇が日本最初の陸海軍演習統覧のため行幸された折り、ご休息されたところである。鳳翔閣のまえに設置されていた記念碑は、現在役場玄関前に移されている。

⑯高橋照君顕彰像
■所在地/金下(JR武豊線 武豊駅前)

昭和28年(1953)9月25日の台風13号の襲来により、字塩田付近の線路が高潮で運行不可能となった。武豊駅に勤務していた国鉄の職員、高橋照さんは、このことを知らずに東成岩駅を発車した列車に危険を知らずため、発煙筒をたいて暴風雨の中へ飛び出して行った。その合図のお陰で、列車は無事に危険から脱したが、高橋さんは高潮にのまれて殉職されてしまった。その高橋さんの責任感をたたえ翌29年(1954)9月に建てられた胸像である。



⑰明治天皇御小休所跡石碑
■所在地/里中29

明治23年(1890)3月に行われた陸海軍合同大演習を統覧するため明治天皇、皇后両陛下が行啓幸された折に、本町で休息所に充てられたのが初山家で、建物跡地に記念碑が建てられている。



⑱知里付神社
■所在地/東大高字池田34

社伝によれば、垂仁天皇26年菊月(陰暦9月)に少彦名命をまつて創建され天曆9年(955)に北野天満天神を合祀したと記載されている。その後、亀山天皇によって従一位の神階が贈られ、屋根瓦の紋も菊花となっている。昭和18年(1943)には郷社として名を列ねている。



⑳襖絵十面
■所在地/富貴字郷北97(円観寺)

高久隆古(小野四郎)筆の大横四本八面と棚小横二本二面の計十面の作品群である。江戸末期の手法で、大和絵の特色が出ている。隆古は、病氣治療に塩湯治(海水浴)に知多地方へ滞在していたと言われており、同師の作品は常滑市正住院にもあり、県指定になっている。



㉑富貴城跡
■所在地/富貴字郷北101(白山社)

富貴城は戦国時代に、渥美半島の田原から進出してきた戸田法雲が築いた城といわれ、白山社が本丸跡である。隣の円観寺を含む一帯が城跡で、境内裏に堀の跡が残っている。



主な埋蔵文化財



㉒中運古墳
■所在地/中運

三河湾を見下ろす標高10mほどの段丘上に、直径約10m、高さ2.5mの墳丘を残している古墳である。平成8年の試掘調査によって頁岩や砂岩を積み重ねた石室の側壁、天井石が埋蔵していることが分かった。出土した蓋環や高環などの須恵器から7世紀ころに築造された古墳と考えられている。



㉓ウスガイト遺跡
■所在地/富貴字新薄里ほか

平成5年(1993)に行われた総面積22,000㎡の発掘調査で、遺跡のある段丘に弥生時代中期を最古として室町時代にいたるまでの家々が立ち並ぶ集落が存在していたことが分った。特に鎌倉、室町時代の遺跡からは、隣り合わせのように四方を溝で区画する屋敷地が多数確認されている。その一区画で掘り井戸をもつ屋敷地が発見され、そこから日常雑器の茶碗、鍋、鉢、甕などの陶土器とともに、桶や曲物、漆器などの木製品が出土している。ウスガイト遺跡は、中世の人々の生活をうかがい知れる遺跡として、また、近隣の丘陵地に群する数百基の中世古窯とのかかりが深い集落として注目されている。



㉔山崎古墳出土品
町指定文化財

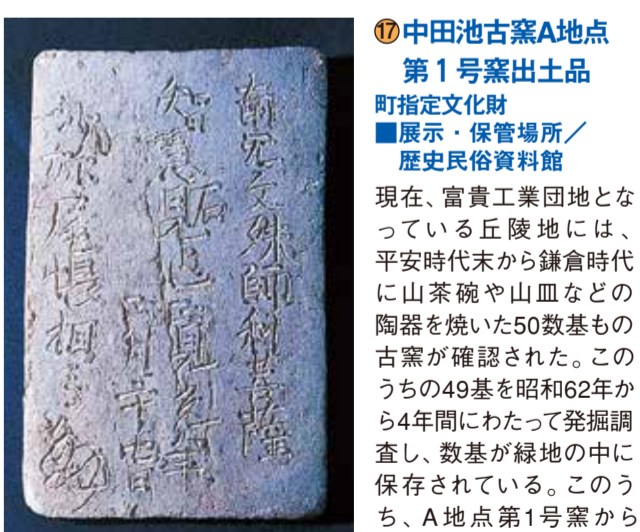
展示・保管場所/歴史民俗資料館
昭和55年(1980)に学術調査した山崎古墳では、玄室に石を敷き詰めた床をもつ横穴式石室を備え、直刀4振りをはじめ、刀子、鉄鏃、鏃、書(くつわ)金具などの馬具、金環や玉類、須恵器や土師器など豊富な副葬品が出土した。須恵器の年代から6世紀半ばに最初の埋葬が行われ、6世紀後半から7世紀にかけて追葬が行われたと考えられている。

名	称	種別	登録年月日・所在地	MAP No.
⑩	旧国鉄武豊港駅転車台	(建)	平21.1.8登録、道仙田9-8	E-5
⑫	中定商店大五蔵、昭二蔵、昭三蔵	(建)	平28.11.29登録、小迎51	C-5

名	称	種別	所在地	MAP No.
㉒	長尾学校跡	(史)	上ヶ6(坂田氏宅)	C-5
㉓	長尾城址	(城)	城内:上ヶ、本丸:金下	C-5
㉔	武雄神社・武雄神社社叢	(天)	上ヶ8(武雄神社)	C-5
㉕	長尾山鳳翔閣跡石碑	(史)	長尾山2(役場庁舎地内)	D-4
㉖	高橋照君顕彰像	(史)	金下(JR武豊線 武豊駅前)	D-5
㉗	旧国鉄武豊線武豊停車場跡・武豊港港跡	(史)	道仙田	D-5
㉘	明治天皇御小休所跡石碑	(史)	里中29	D-5
㉙	旧武豊港	(史)	道仙田	D-6
㉚	知里付神社	(史)	東大高字池田34	E-5
㉛	襖絵十面	(絵)	富貴字郷北97(円観寺)	F-4
㉜	富貴城跡	(城)	富貴字郷北101(白山社)	F-4

名	称	種別	所在地	MAP No.
㉝	二ツ峯古窯群	(窯)	二ツ峯	A-1
㉞	蛇ヶ谷古窯群	(窯)	蛇ヶ谷	B-2
㉟	中運古墳	(古)	中運	B-5
㊱	南蛇ヶ谷古窯群	(窯)	上山ノ田	C-2
㊲	北小松谷古窯群	(窯)	北小松谷	D-1
㊳	ウスガイト遺跡	(住)	富貴字新薄里ほか	F-4
㊴	カル田古窯群	(窯)	富貴字カル田	G-1
㊵	自然公園内古窯群	(窯)	富貴字深谷	G-1
㊶	下別古窯群	(窯)	富貴字下別曾	G-2
㊷	中田池古窯群	(窯)	富貴字中田ほか	G-2
㊸	山崎古墳	(古)	富貴字山崎	G-5

⑩一建造物 ⑪一史跡 ⑫一城館跡 ⑬一天然記念物 ⑭一絵画
⑮一窯業遺跡 ⑯一古墳 ⑰一住居遺跡



⑰中田池古窯A地点
第1号窯出土品
町指定文化財
展示・保管場所/歴史民俗資料館
現在、富貴工業団地となっている丘陵地には、平安時代末から鎌倉時代に山茶碗や山皿などの陶器を焼いた50数基もの古窯が確認された。このうちの49基を昭和62年から4年間にわたって発掘調査し、数基が緑地の中に保存されている。このうち、A地点第1号窯から「南無文殊師利菩薩 智恵現也 正見元(又は寛元)年 正月二十七日 沙弥尾張相□」とへら書きがされた陶硯が出土した。この銘文から、文殊信仰と深いかかわりをもつ者が13世紀中頃に書き記し、作った硯であったことが分かり、同時に知多半島の古窯製品の年代を決める基準資料として重要な資料であると評価され、出土した遺物は町指定文化財となっている。



武豊町の文化財



▲小迎からくり人形 ▲下門からくり人形



▲上ヶからくり人形 ▲富貴からくり人形

第6回令和元年(2019) 武豊ふれあい山車まつり風景
発着 武豊町歴史民俗資料館
〒470-2336 愛知県知多郡武豊町字山ノ神20-1
TEL・FAX 0565-73-4100
マスコットキャラクター
あまなまろ
(令和3年4月改訂)



武豊の祭り

4月第1土・日曜日 4月第2土・日曜日
富貴地区 知里町前(東大高区) 本若草(富貴区) 大足地区 武豊ふれあい山車まつり
長尾地区 長尾(馬場区) 神宮車(市馬区) 八幡車(下門区) 藤宮車(富貴区) 宮本車(上ヶ区) 鳳凰車(小迎区) 玉神車(玉貫地区)
大足地区 7月中旬土・日曜日 宛車(大足区)
武豊ふれあい山車まつり 11月の山車が一帯に集結(5年毎の合併記念年に開催) 第1回平成6年(1994)～